

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2024年3月期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2024年5月10日

目次

2024年3月期

Section 1	ハイライト	P3
Section 2	2024年3月期 決算概要	P5
Section 3	事業構成	P11
Section 4	施策と進捗状況	P18
Section 5	業績予想(2025年3月期)	P21
Section 6	トピックス	P25
	Appendix	P30

Section 1 ハイライト

ハイライト

2024年3月期

1

売上高：増収 売上総利益：増益

(前年同期比)

売上高 : 998百万円 +0.4% +4百万円 (前期: 994百万円)

売上総利益 : 393百万円 +5.1% +19百万円 (前期: 374百万円)

(要因)前年度あった大型案件の減少によりマイクロサーバーの売上は減少
サービス比率の高いネットワークアプライアンスは増加

2

営業利益：減益

営業利益 : ▲101百万円 ▲3百万円 (前期: ▲98百万円)

(要因) Web3事業: 実証プロジェクト関連費用23百万円に相当する金額が増加

→プロジェクト関連費用に対して補助金を申請し、翌事業年度に交付される見込み

3

戦略：ソフトウェア・サービス型の事業形態への転換

- ・ソフトウェア・サービス収益の強化
- ・Web3技術とIoTを活用した実証事業を実施

→年度末の商業化を目指し、実証実験を継続

Section 2 2024年3月期 決算概要

決算概要

2024年3月期

増収・減益

自社製品コンピューター：ネットワークアプライアンス、及びIoTゲートウェイの新製品の立ち上がりによる増販
コンピューター関連商品：前年度に半導体不足のために遅延していた商品の入荷が再開されたため増販
サービス・その他：サービス比率の高いネットワークアプライアンスの増加

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	増減率	増減額
売上高	994	998	+0.4%	+4
営業利益	▲98	▲101	--	▲3
経常利益	▲95	▲101	--	▲5
当期純利益	▲103	▲107	--	▲3

決算概要

2024年3月期

增收・減益

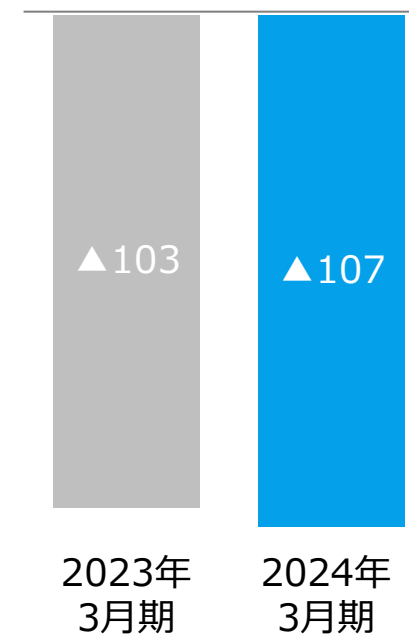
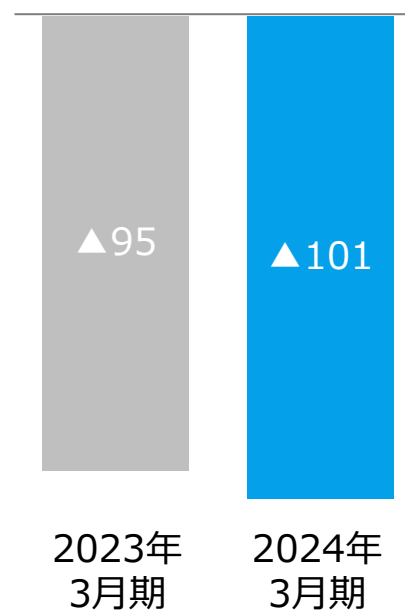
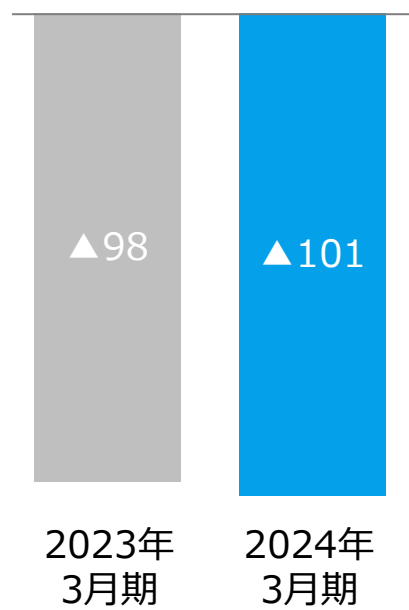
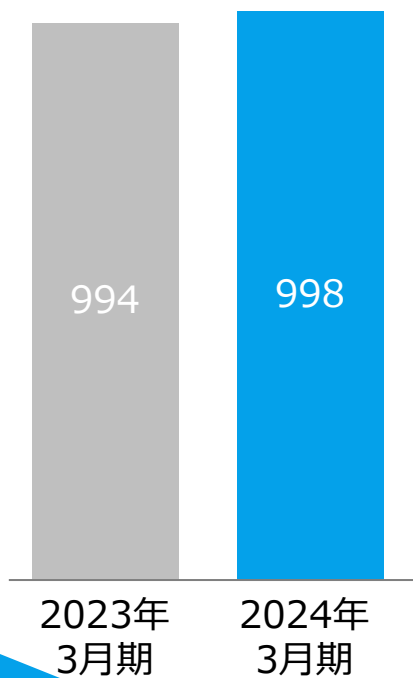
単位：百万円

売上高

営業利益

経常利益

当期純利益



損益計算書

2024年3月期

単位：百万円	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	994	100.0%	998	100.0%	+4	+0.4%
売上総利益	374	37.7%	393	39.4%	+19	+5.1%
販管費	473	47.6%	495	49.6%	+22	+4.8%
営業利益	▲98	▲9.9%	▲101	▲10.2%	▲3	—
経常利益	▲95	▲9.6%	▲101	▲10.1%	▲5	—
当期純利益	▲103	▲10.4%	▲107	▲10.7%	▲3	—

貸借対照表

2024年3月期

単位：百万円	2023年3月		2024年3月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	225	31.5%	158	24.6%	▲ 66	▲ 29.6%
売掛金及び 契約資産	168	23.6%	152	23.7%	▲ 15	▲ 9.3%
棚卸資産	247	34.7%	263	40.8%	+15	+6.4%
その他	23	3.3%	21	3.3%	▲ 2	▲ 9.2%
流動資産	664	93.1%	596	92.4%	▲ 68	▲ 10.3%
固定資産	49	6.9%	49	7.6%	—	—
資産合計	713	100.0%	645	100.0%	▲ 68	▲ 9.6%
流動負債	213	29.9%	251	38.9%	+37	+17.6%
固定負債	36	5.1%	37	5.8%	+1	+2.8%
負債合計	250	35.0%	288	44.7%	+38	+15.4%
純資産合計	463	65.0%	356	55.3%	▲ 107	▲ 23.1%
負債純資産合計	713	100.0%	645	100.0%	▲ 68	▲ 9.6%

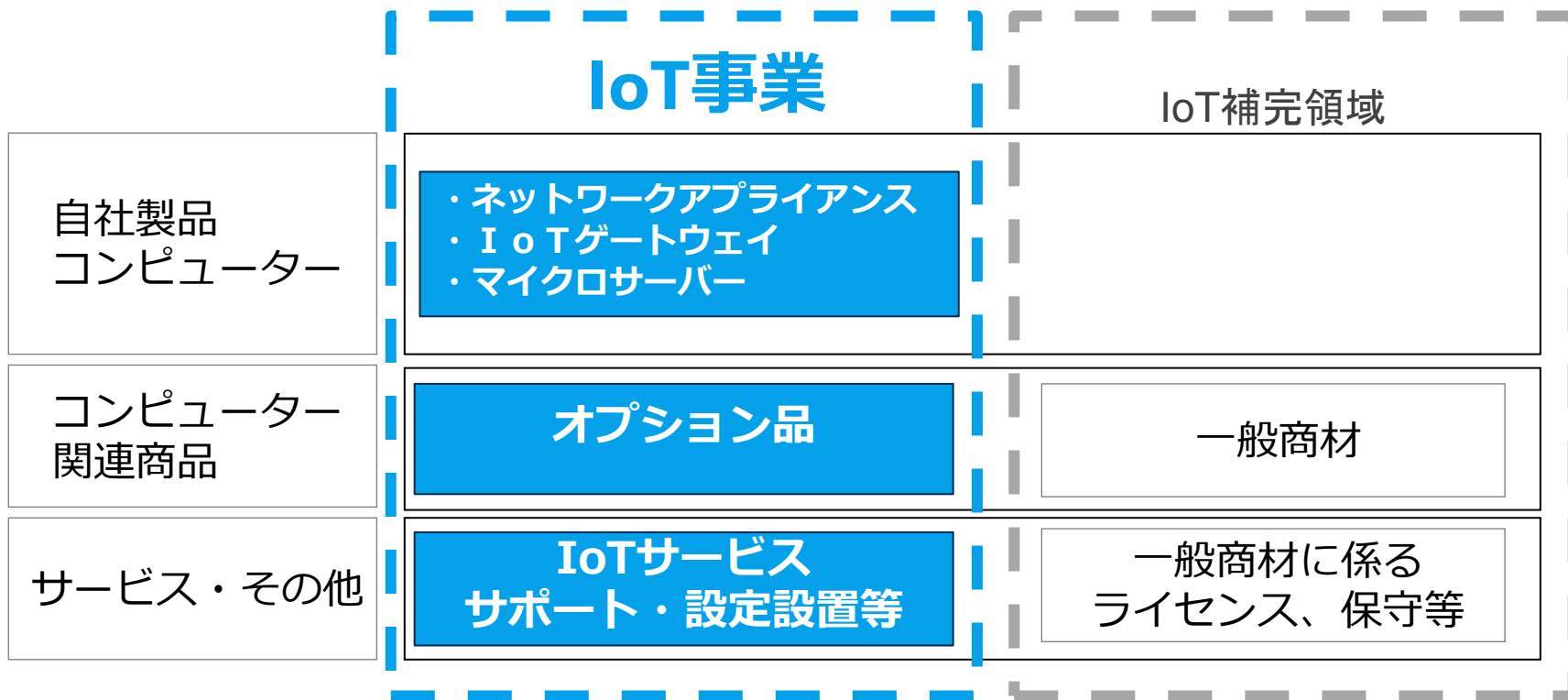
キャッシュフロー計算書

2024年3月期

単位：百万円	2023年3月	2024年3月	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	▲ 179	▲62	+116
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 5	▲4	+1
財務活動による キャッシュ・フロー	99	-	▲99
現金及び 現金同等物の増減額	▲ 84	▲66	+18
現金及び 現金同等物の 期末残高	225	158	▲66

Section 3 事業構成

ネットワーク事業



※従来より進めてきた事業をネットワーク事業と位置付けております。

品目別の状況

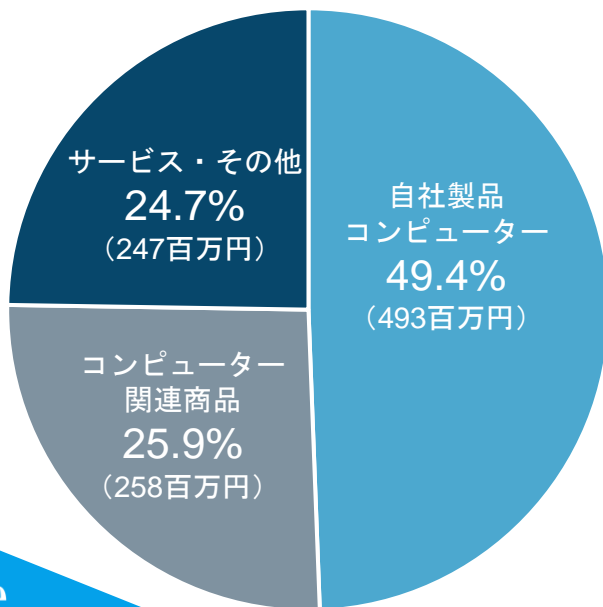
2024年3月期

売上高・粗利益ともに自社製品コンピューターが約5割

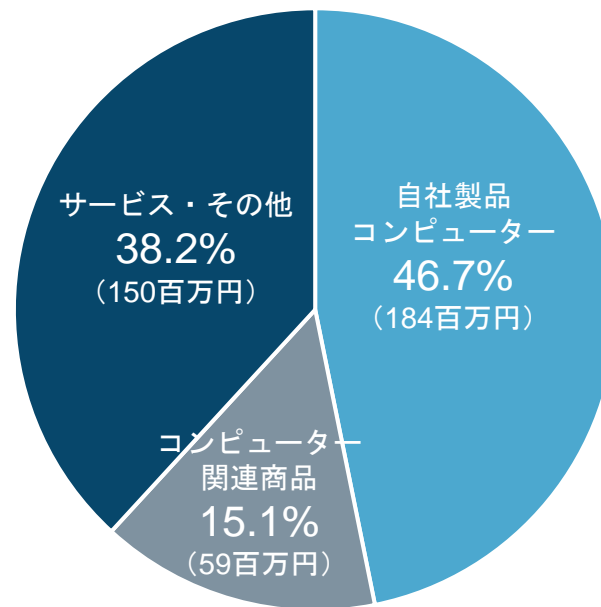
単位：百万円	売上高				粗利益(粗利益率)			
	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率
自社製品コンピューター	494	493	▲1	▲0.2%	168(34.1%)	184(37.3%)	+15	+9.0%
コンピューター関連商品	256	258	+2	+0.8%	59(23.1%)	59(23.0%)	+0	+0.5%
サービス・その他	243	247	+3	+1.4%	146(60.2%)	150(60.9%)	+3	+2.4%
合計	994	998	+4	+0.4%	374(37.7%)	393(39.4%)	+19	+5.1%

構成比

売上高



粗利益

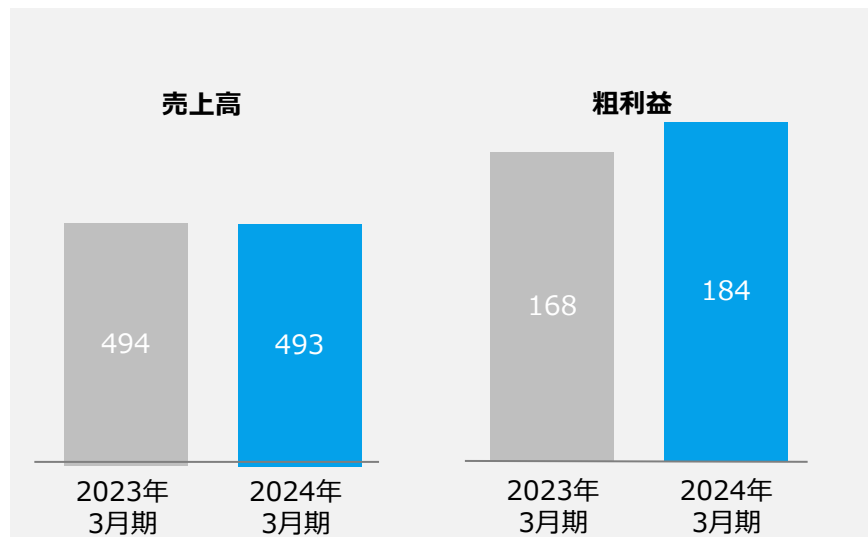


品目別の状況(自社製品コンピューター)

2024年3月期

大型案件が減少も前年度並を維持

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	増減率	増減額
売上高	494	493	▲0.2%	▲1
粗利益	168	184	+9.0%	+15



【要因】

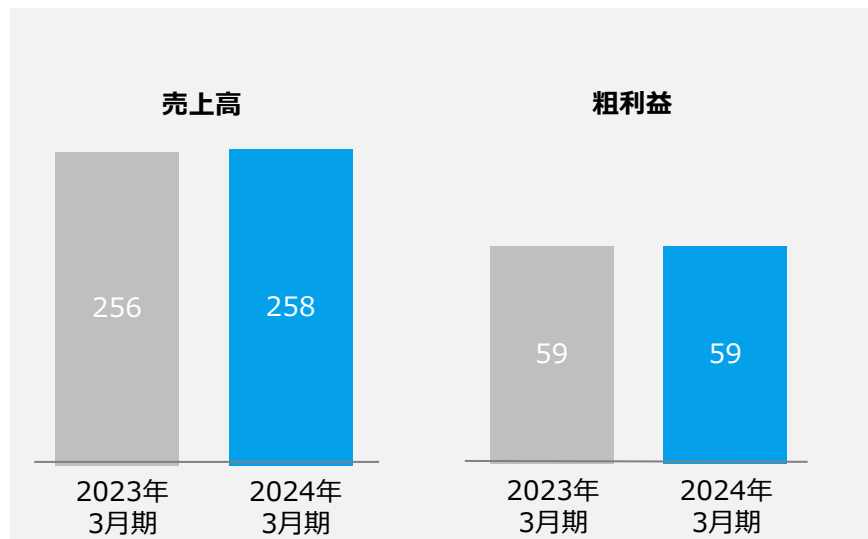
- ・ ネットワークアプライアンス、及びIoTゲートウェイの新製品の立ち上がりによる増販
- ・ 前年度あった大型案件の減少によりマイクロサーバーの売上は減少
- ・ 処理性能を高めた第二世代製品の供給を実行
→コネクテッドな時代の顧客のユースケースに柔軟に対応可能

品目別の状況(コンピューター関連商品)

2024年3月期

前年度並み

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	増減率	増減額
売上高	256	258	+0.8%	+2
粗利益	59	59	+0.5%	+0



【要因】

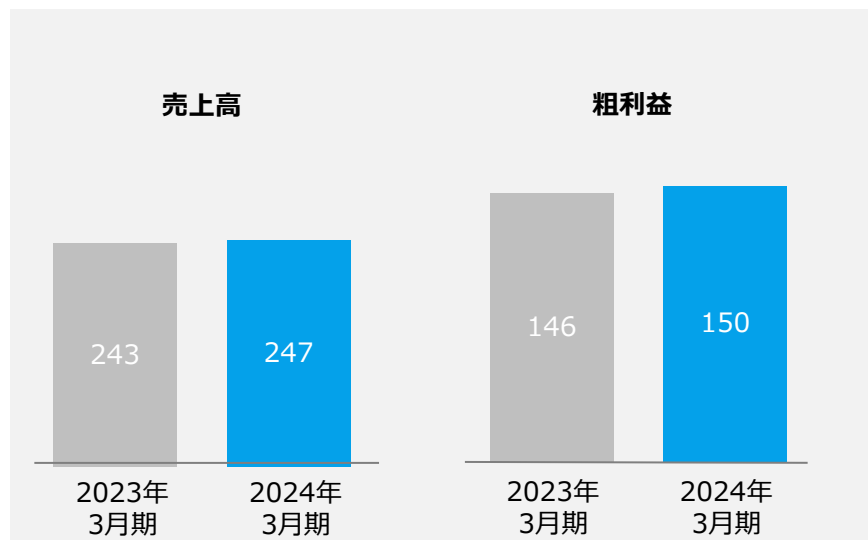
- ・ 前年度に半導体不足のために遅延していた商品の入荷が再開されたため増販
- ・ **売上総利益率は23.0%**(前年同期は23.1%)

品目別の状況(サービス・その他)

2024年3月期

前年度並み

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	増減率	増減額
売上高	243	247	+1.4%	+3
粗利益	146	150	+2.4%	+3



【要因】

- ・ サービス比率の高いネットワークアプライアンスは増加したが、自社製品コンピューターに係るサービスの売上全体は前年度とほぼ同レベル

事業構成

2024年3月期

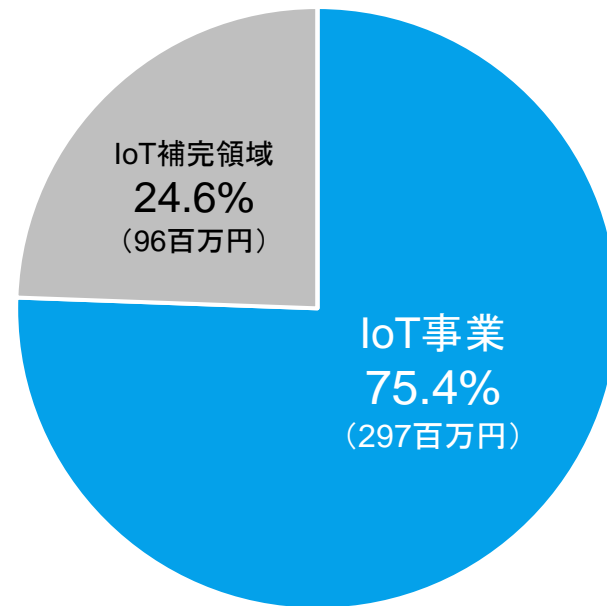
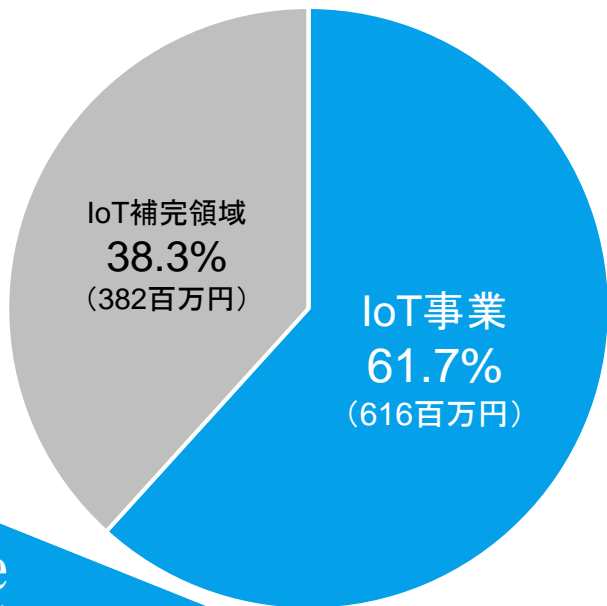
売上高の6割強、粗利益の7割強がIoT事業



構成比

売上高

粗利益



Section 4 施策と進捗状況

施策と進捗状況

2024年3月期

ハードウェア中心の事業形態から ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ

施策

進捗状況（通期）

ソフトウェア・サービス収益の強化

- ・専用ソフトウェアを搭載し付加価値を高めたネットワークアプライアンス製品を収益化の柱の一つと位置づけ、開発・販売を強化。
→2024年3月期は **4つのネットワークアプライアンス製品を発表**。

ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入

- ・慶應義塾大学SFC研究所との共同研究
IoTの推進に向けたブロックチェーン（Web3）技術に関する慶應義塾大学との共同研究を継続。
→研究成果である標準的プロトコルを、さらに現実的な課題に適用し、実用段階に進めることを目指す。
- ・ **日本酒輸出増プラットフォーム**
Web3技術とIoTを活用した実証事業を実施。
次年度も早期の実用化を視野に入れた実証事業を行う計画。

施策と進捗状況(Web3事業)

2024年3月期

Web3技術の実装を目指す実証プロジェクト

当社のWeb3（ブロックチェーン）技術とIoTを活用したサプライチェーン管理の実証プロジェクトを進めています。

日本酒の輸出拡大を図るための輸出物流ネットワークの構築を目指す協議会「**日本酒輸出増プラットフォーム実証推進協議会**」を設立し、新しい輸出物流モデル構築の実証プロジェクトを本年度より開始しました。このプロジェクトは、**Web3技術とIoTを活用し**、輸出のサプライチェーン全体にわたる個品管理と多次元の品質トラッキングを行うと同時に、各段階の参加者に多様な参加機会を提供することにより、従来技術ではできなかった効率化・高品質化・高付加価値化を実現することを目指しています。本プロジェクトには農林水産省の補助金交付が決定しています。

協議会構成企業

- ・秋田清酒株式会社
- ・浅舞酒造株式会社
- ・合名会社栗林酒造店
- ・イーシップ株式会社
- ・ぷらっとホーム株式会社
- ・三井住友海上火災保険株式会社

プロジェクト参加専門企業

- ・三菱倉庫株式会社
- ・株式会社日立ソリューションズ
- ・協栄産業株式会社
- ・イノラックスジャパン株式会社
- ・日本ガイシ株式会社



Section 5 業績予想(2025年3月期)

業績予想(2025年3月期)

増収・増益予想

売上高：ネットワークアプライアンスに注力

利益：Web3実証事業の補助金収入を見込む

単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減率	増減額
売上高	998	1,160	+16.1%	+161
営業利益	▲101	▲40	--	+61
経常利益	▲101	20	--	+121
当期純利益	▲107	15	--	+122

ハードウェア中心の事業形態から ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ

ネットワークアプライアンスの強化

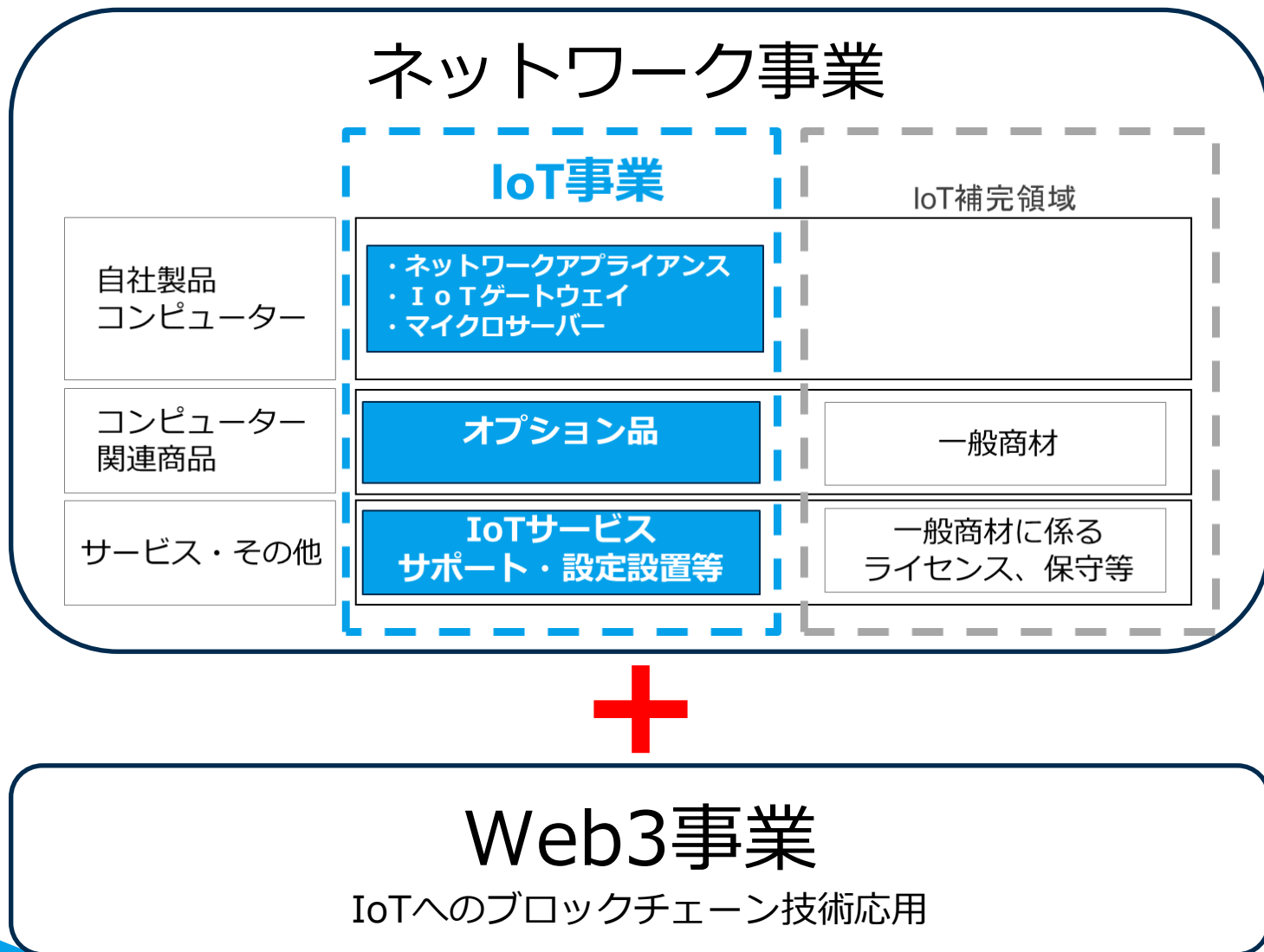
ネットワーク事業は「ネットワークアプライアンス」に注力。IoTゲートウェイとマイクロサーバーは既存顧客・既存事業の維持・成長をサポートする。

Web 3 事業の商業化

年度末の商業化を目指し、実証実験を継続。

事業構成

従来のネットワーク事業に加え、Web3事業の2事業で構成

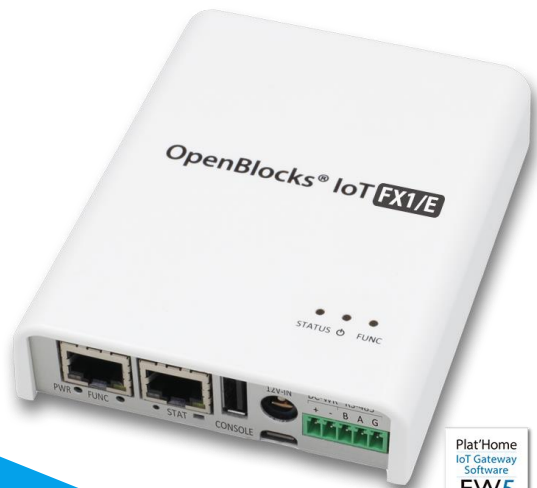


Section 6 トピックス

第二世代製品のモデル追加

コネクテッドな時代の顧客のユースケースに柔軟に対応可能な、
マイクロサーバ/IoT第二世代製品群の投入を前倒し実行

IoTゲートウェイ OpenBlocks IoT FX1/E



「OpenBlocks IoT FX1」の処理性能や安定性、
またPoE対応等の利便性は変えることなく、スト
レージを必要十分な容量にすることで、低価格に
抑えた新製品

ノーコードでIoTデバイスや主要クラウドと接続
するFW5を搭載
データ利活用のさらなる促進と、IoT技術のより
容易な導入をサポート

トピックス

2024年3月期

4つのネットワークアプライアンス製品を発表

EasyBlocks 監視



主要な機能に特化することで低価格を実現した EasyBlocksシリーズの新ラインナップ

EasyBlocks Syslog HX 2T



大規模システム向け大容量Syslogサーバーアプライアンスの新モデル

EasyBlocks リモート監視管理



自社または客先のネットワークの設備保守・運用担当者向けのリモート保守作業実施を支援する製品

EasyBlocks Syslog ProLine



大容量かつ可用性に優れた大規模システム向けログサーバー

トピックス

2024年3月期

第三者割当による新株式発行

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2024年4月11日開催の取締役会において、次のとおり第三者割当による新株式の発行について決議し、2024年4月26日に払込が完了しております。

(1)募集株式の種類及び数	普通株式	65,100株
(2)払込金額	1株につき	718円
(3)払込金額の総額		46,741,800円
(4)増加する資本金の額		23,370,900円
(5)増加する資本準備金の額		23,370,900円
(6)割当方法	第三者割当の方法による	
(7)払込期日	2024年4月26日	
(8)資金の使途	運転資金	

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

本件に関するご連絡先
ぷらっとホーム株式会社 IR担当
03-5213-4376（平日9:30-17:00）

（注）スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。

Appendix

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億2,337万円

社長：鈴木 友康

(2024年4月26日現在)

社員数：32人 (2024年3月31日現在)

売上：9億9,894万円 (2024年3月期)

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は2つの事業を通じて
「自由で安全なコネクテッドワールド」
の実現を目指します。

自由で安全なコネクテッドワールドの実現

ネットワーク事業

Web3事業

I O T 事業

I O T 補完領域

データ伝送・流通

当社独自の強みを生かして
さらなる成長と拡大を実現

アライアンスにより
新たなる成長を目指す

ぶらっとホームの事業領域

当社ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

PHYSICAL WORLD



IoTデバイス・センサー

IoTゲートウェイ

クラウドサービス

あらゆるデバイスをインターネットへ
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス
IoT事業

CYBER WORLD



デバイス管理・リモート管理
データ流通・伝送基盤

より利便性の高い社会の実現へ
地方公共団体・電力会社
交通・物流・公共施設

より豊かなくらしづくりの実現へ
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ
地方公共団体・教育機関・医療機関
警備・保険・セキュリティ

当社が培ってきたIoT事業を核に周辺領域へ事業を拡大

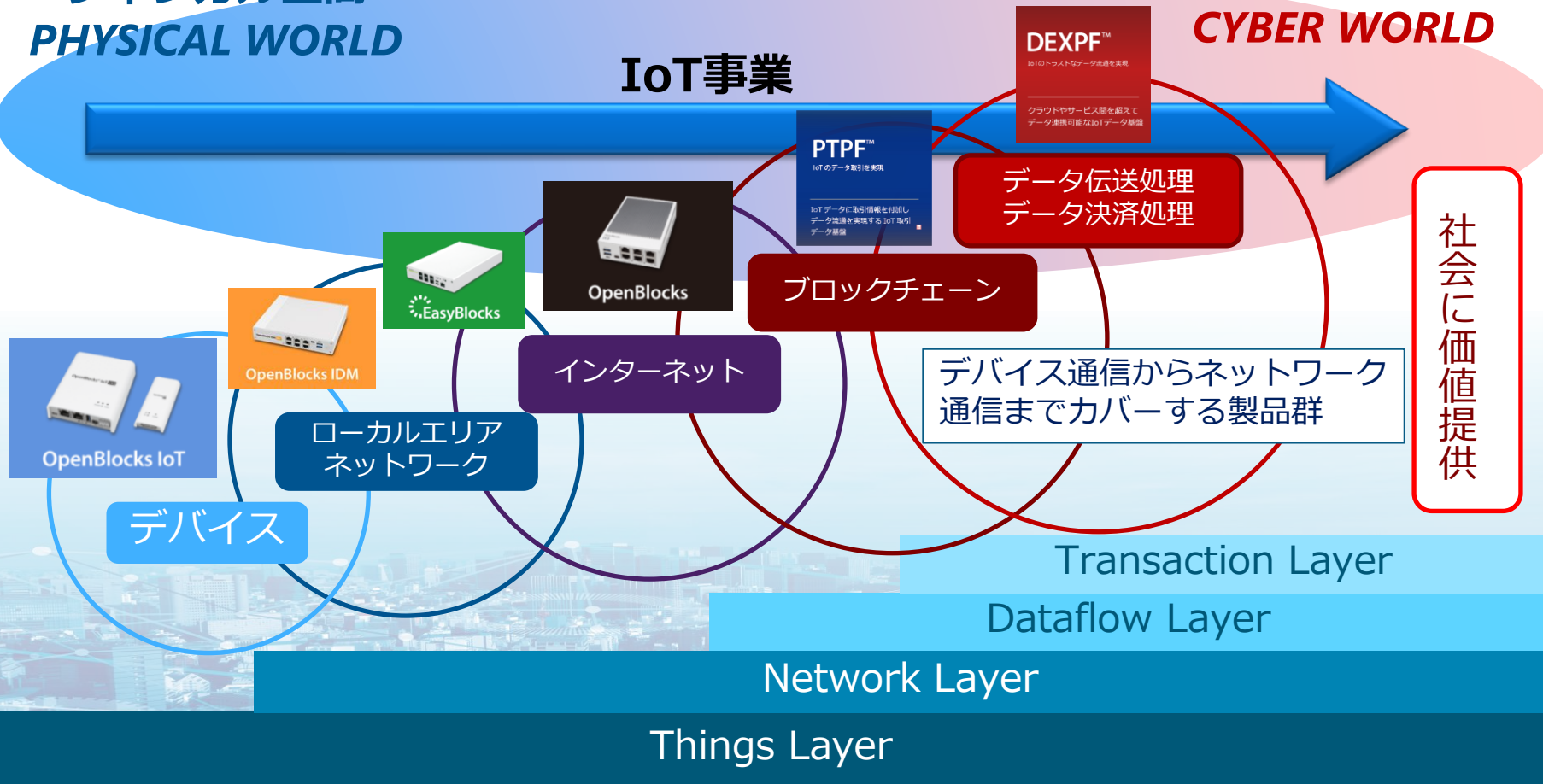
ぷらっとホームの事業領域

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

フィジカル空間
PHYSICAL WORLD

サイバー空間
CYBER WORLD

IoT事業





当社事業による社会貢献

環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- 当社の技術力により、産業界におけるIoT化を促進。産業と技術革新の基盤を創出（SDGs目標9）
- 大型で電力を消費するサーバーに代替する製品として、当社製品は小型かつ電力消費量低減を実現。製造者としての「つくる責任つかう責任」（SDGs目標12）
- 当社のパートナー戦略は、持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化（SDGs目標17）

当社の事業展開により、顧客とともにカーボンニュートラルに取り組み、SDGsを実現し、社会に貢献してまいります。